

第 10 回「テーマティック研究会」切手展目録

(JTPC : Japan Thematic Philatelists Club)

日時 : 2019 年 3 月 1 日 ~ 3 月 3 日) 会場 : 「切手の博物館」(目白)

出 品 目 録



ご挨拶

テーマティック研究会 代表 内藤陽介

テーマティック・フィラテリー (テーマ郵趣) は、切手のほかカバーやステーションナリー、消印など多種多様な郵趣材料を使い、ストーリー性ある作品を構成しようとする知的遊戯です。私たち「テーマティック研究会」はテーマ郵趣の作品をつくり、内外で開催される切手展を参観して研究するとともに、自らも出品し、入賞を目指すメンバーで構成されています。年々、会員も増加し、会員の受賞歴も着実に積み上げてきました。

今回、第 10 回の節目を迎えるミニボックスでは、2018 年に開催された〈全日本切手展〉、〈JAPEX〉、世界切手展〈PRAGA 2018〉、〈THAILAND 2018〉への会員の出品作品ならびに今年開催が予定されている競争切手展への出品予定作品のリハーサル出品を中心に、従来以上に充実した内容で、日常の活動の成果の一端を皆様にご紹介いたします。今後の作品の質的向上のためにも、皆様の忌憚のないご意見をお聞かせいただけると幸いです。

1. サイネージ

2-4 「ドラクロワの芸術と生涯」

出品者 川辺勝

「ドラクロワは、フランス・ロマン派を代表する画家で、「近代絵画最初の画家」ともいわれます。また、扱った主題や素材の点ではルネサンス以来のオールド・マスターを引き継ぐ最後の画家とも言えます。この作品は、ドラクロワの生涯を 3 期に分けて、その時代の背景や状況などにも触れながら、新古典主義の画壇と対峙しながら、ひたすら仕事に打ち込んだドラクロワの画業をまとめました。

5. ドラクロワの「民衆を導く自由の女神」 (MELBOURNE 2017 得点 83 点)

出品者 川辺勝

「民衆を導く自由の女神」は、ドラクロワの代表作で、1830 年のフランス、七月革命を象徴的に描いた歴史画です。1982 年にフランスのマリアンヌの普通切手にも採用されました。この作品は、ドラクロワの「民衆を導く自由の女神」について、ワンフレームのテーマティック作品として纏めたもので、2017 年のメルボルンでのアジア国際切手展に出品したものをベースに再構築しました。

6. ドラクロワの「十字軍のコンスタンティノーブル入城」 出品者 川辺勝
(THAILAND 2018 得点 80 点)

フランスはドラクロワの生誕 200 年を記念して、彼が描いた二人の女性を切手に採用しました。これは「十字軍のコンスタンティノーブル入城」の一部で彼の成熟期の傑作と言われていいます。切手には彼女らの悲劇的な状況が見て取れます。この作品はこのドラクロワの絵と、描かれた歴史的イベントを扱ったワンフレームのテーマティック作品で、2018 年のバンコクの国際切手展に出品したものをベースに再構築しました。

7-10 「ツェッペリン飛行船」(4 フレーム) (JAPEX2018 金賞) 出品者 伊藤 裕介

飛行船といえば、ドイツのツェッペリン伯爵が開発した「ツェッペリン飛行船」が最も有名です。本作品では、失敗を重ねながら建造した初期、客船・軍用として活躍した成長期、世界一周をした「グラーフ・ツェッペリン号」、事故により「悲劇の飛行船」と呼ばれた「ヒンデンプルク号」、事故による運航中止後、近年復活した「ツェッペリンNT」について、紹介します。

11-15 「花卉園芸 —ヨーロッパの視点からたどる発展史—」

(THAILAND 2018 大銀賞) 出品者 嘉ノ海咲子

本作品は花卉を対象とした園芸の発展過程をヨーロッパの視点から展開したもので、1) プラントハンティングの軌跡、2) 園芸の基盤となる植物分類学や栽培施設としての植物園の開設、3) 品種改良の成果、4) 園芸産業の発展をみていき、最後に 5) 花が人々の生活の中でどのように利用されてきたかを示しています。現在、THAILAND 2018 で指摘された点を踏まえ、次の国際展に向けて改善に努めています。

16-20 「ワグナーの生涯」 (THAILAND 2018 銀賞) 出品者 荒井照夫 (オープン)

リヒャルト・ワグナーについて、その生涯と作品を、自筆カバー、50 年展記念切手 (9 種) の MC・実通・切手帳・絵葉書 (1890-1920 年)・記念消印・エッセイ等で描く。

21-25 「チェコスロヴァキア亡命政府 1940-1945」 (PRAGA 2018 金銀賞) 出品者 忠津章

20 世紀前半にヨーロッパに存在していたチェコスロヴァキア共和国が 1939 年 3 月にナチス・ドイツに占領された後、ベネシュ元大統領がイギリスで亡命政府を設立し、1945 年 5 月に母国を解放するまでの歩みをまとめたオープン作品です。当時の切手やカバーなどの郵趣品と、絵葉書、写真や新聞などの非郵趣品を展示しています。

26-33 「芸術家たちの肖像史 ～ミューズと歩んだ 600 年の軌跡～」

(THAILAND 2018 大金銀賞) 出品者 江村清

名もない職人から神にも近い存在の芸術家となったルネサンス時代から、絶対王政、市民革命、世界大戦などを経て、アメリカのポップ・アートと、制作し続けられている芸術家たちの肖像画の変遷を展開しました。

そして彼らと共に生き、彼らに創作力を与えたミューズたちを同一ページに配置し、時代変化の考証と彼らのエピソードも紹介しています。

34-36「プリンツ・オイゲン その生涯と時代背景」

(JAPEX2018 大銀賞) 出品者 齋藤良昭

プリンツ・オイゲンは、ルイ 14 世時代のフランスで生まれたイタリア系貴族である。生涯、フランスとオスマン帝国を敵として戦い、のち神聖ローマ帝国の大元帥となり、オーストリアの実質的な首相となった。オイゲンの家柄や経歴を追うとともに、彼をとりまくヨーロッパの政治・軍事情勢を概観し、オイゲン死後のオーストリアの動きやオイゲンに対する評価を紹介する。

37-39 「障害者スポーツ」 (JAPEX2018 大銀賞)

出品者 大沢秀雄

障害者スポーツは身体障害や知的障害などの障害がある人が行うスポーツのことである。2020 年の東京パラリンピックの開催に向け、障害者スポーツのさらなる啓発活動を行う目的で、本作品を制作した。パラリンピック、聴覚障害者のデフリンピック、知的発達障害者のスペシャルオリンピックスの郵趣マテリアルを加え、障害者スポーツ全体を示す作品にした。

40 「鳥類進化の研究史」

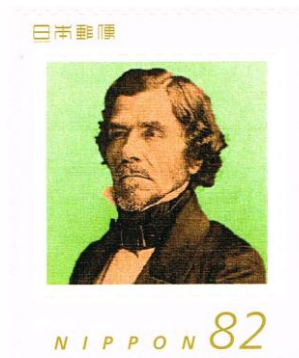
出品者 虎頭雄彦

この作品は、鳥類が何から進化し、いかにして翼を得て飛翔できるようになったか、約 1 世紀にわたって研究者たちが追い続けた「鳥類進化の研究史」を、ワンフレームで表現した作品です。1861 年の「始祖鳥発見」から最新の「鳥類の恐竜起源説の確立」まで、古生物学上の重大な発見を織り交ぜながら展開しています。2017 年 JAPEX に出品した「Time To Fly 始祖鳥進化の物語」(大銀賞) を改題、指摘された部分を改良し、文章も英語から日本語に変更しました。

フレーム切手・小型印解説



額面 62 円



額面 82 円

62 円切手：ドラクロワ画「アルジェの女たち」の一部で、ルノワールが世界で 1 番美しいと絶賛した作品。(1834 年の作、ルーヴル美術館所蔵)

82 円切手：「ドラクロワの肖像写真」1861 年のナダール撮影のものを、ウォーホール調に仕上げたもの。

記念印：ナダール撮影の肖像をパレットの上にアレンジしたもの。

テーマティック研究会（会員募集中）

代表：内藤陽介

副代表&事務局長:大沼幸雄

役員：(アイウエオ順)

榎沢祐一（会報編集・発行）

勝井明憲（PR）

嘉ノ海暁子（PR）

虎頭雄彦（展示）

小林有（会計）

山田精一（関西エリア）

顧問：江村 清

顧問：西海隆夫

問合せ先：大沼幸雄

〒154-0001 世田谷区池尻 4-27-32-408

電話：03-3414-6258 FAX:03-5486-8145

電子メール：y-onuma@sage.ocn.ne.jp

年会費：1000 円

会員数：34 名

活動概要

会報（年4回）ネット配信）

ミニペックス開催：年1回(毎年春)

例会・合評会・懇親会（スタンプショウ・JAPEX

全日展等の開催時に適宜開催）

セミナー（随時）